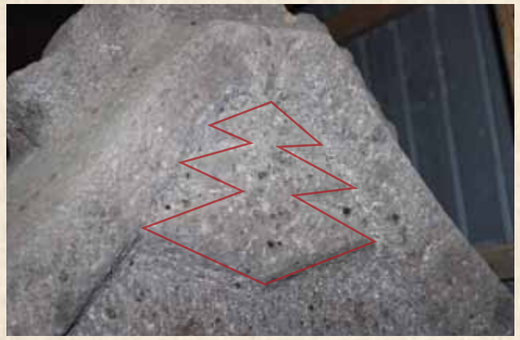
こうげのふどき
上毛風土記 Vol 108

豊前坊（ぶぜんぼう）その2

12月号で紹介した豊前坊ですが、昭和61年刊行の『大平村誌』に西友枝小畑（おばた）、渡瀬（わたせ）地区の豊前坊講について、紹介されています。村誌には、「明治三十四年旧六月十一日豊前坊御神座（ごしんざ）目録をみると、当村では江戸時代の中期以降には、耶馬渓町檜原（ひばら）山正平寺（さんしょうへいじ）から座主（ざす）（寺院の住職）を迎え、お通夜（宮籠り）をしていたようである。現在では七月七日に泥よこいを兼ねてするところもあるようである。

また、イモチ病が出ると、英彦山の豊前坊まで歩いて行ってお水をもらってきて、自分の田の水口に少しずつその水を入れてお祈りをしていた地区もあったようである。」と記載されています。実際にどのような祠（ほこら）なのか小林正文さん（西友枝）の案内で渡瀬地区山内のお堂に稲荷様とともに祭られている「豊前坊様」を拝見しました。祠は前回紹介させて頂いた西友枝大門（だいもん）地区の祠のように年号等の刻銘はありませんでしたが、側面に小倉藩小笠原（おがさわら）氏の家紋である三階菱が刻まれていました。

渡瀬地区に祀られている「稲荷様（右）」と「豊前坊様（左）」



豊前坊様の側面に刻まれた「三階菱」

江戸時代中頃には祀（まつ）られていたとされる渡瀬地区の豊前坊ですが、前回紹介した大門地区の祠も、「宝暦十一年」つまり江戸時代の中頃、西暦一七六一年に作られたことから、同時期に祀られていたのでしょう。また、西友枝大入（だいにゅう）地区で行われている山の神祭りは、現在でも檜原山正平寺の住職により行われており、小畑、渡瀬の豊前坊講で檜原山から座主を呼んでいたことにつながりがあるのかもしれません。

日本三大修験道場といわれ、全国的に隆盛を誇った英彦山（ひこさん）、そして英彦山とつながりのあった同じ修験の山であった求菩提山（くぼてさん）、松尾山（まつのおさん）、檜原山などの山々も明治時代に入り修験道が廃止されるとそれまでの力も無くなっていきました。そのため、英彦山と強い関わりのある豊前坊信仰も時代の流れと共に、次第になくなっていったのかもしれません。

教務課文化財保護係　佐藤　信

図書館だより

げんきの杜図書館　TEL 72-1633

■図書館開館日時変更のお知らせ
※祝日も開館しております。
休館日/月曜日（毎週）・月末（変更あり）
火曜日～土曜日　10:00～18:00
日曜、祝日　9:00～17:00

峠の茶店を営む半平と志乃。慎ましく暮らしていた。しかし、ある年の初夏、隣国の結城藩から夜逃げしてきた一家を助けたことにより、ふたりの静かな生活がかき乱されていく。

峠しぐれ
双葉社（2/1入荷）
葉室 麟【著】

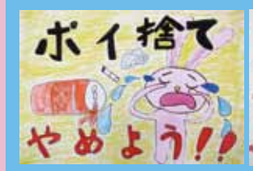
病気になった、こぶたのプータは苦いおくすりが嫌いです。そこへ、かいじゅうの子どもたちが甘くて飲みやすい魔法のおくすりを持ってきて…。

にがいおくすりのめるかな
岩崎書店（2/1入荷）
深見 春夫【作】

おすすめ本

NHKためしてガッテン科学のワザで脳から若返る。	主婦と生活社	（2/1入荷）
はじめてのママでも作れる通園・通学グッズ	御苑 あきこ【著】	文化出版局	（2/1入荷）
信玄の首	矢野 隆【著】	角川春樹事務所	（2/1入荷）
脱・限界集落株式会社	黒野 伸一【著】	小学館	（2/1入荷）
アンパンマンとブリキッド	やなせ たかし【原作】	フレーベル館	（2/1入荷）

環境ポスター入選作品



唐原小４年
奥村（おくむら）　友希（ゆき）

西吉富小6年
山本（やまもと）　裕太（ゆうた）

環境標語入選作品

これ以上　進めちゃいけない　温暖化
上毛中2年　財前（ざいぜん）　琉生（りゅうき）

ポイ捨ては　地球と心を　汚します
上毛中3年　鈴木（すずき）　凌斗（りょうと）

直売所向け野菜栽培講習会のお知らせ

野菜栽培技術の向上及び品揃えの充実、安全・安心な農産物の増加を図るため、直売所出荷者を対象に講習会を開催いたしますので、お気軽にご参加ください。これから出荷を予定されている方も大歓迎です。

■日時　2月12日（木）13:30～
■会場　げんきの杜　多目的ホール
●問い合わせ先　京築普及指導センター　TEL 0930-23-4215

農地を貸したいとお考えの皆様へ

農地中間管理機構（（公財）福岡県農業振興推進機構）を通じて、担い手農業者に農地を貸しませんか。

農地中間管理機構は、農地の利用集積を進めるための公的機関です。

農地中間管理機構を通じて担い手農業者に農地を貸し付けると、経営転換協力金（30～70万円／戸）の対象となる場合があります。（貸付希望の受付は随時行っています。）

詳しくは下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先
産業振興課　農政係
TEL 72-3111（内線181）

直売所だより

さわやか市「大平」　☎72-3945

料理には欠かせない食材です

出口 年良・良子さん（下唐原）

じゃがいも（デジマ）

じゃがいもにはビタミンCが多く含まれているので、風邪予防や疲労の回復、肌荒れなどに効果があるといわれています。じゃがいものビタミンCはデンプンに守られているため加熱しても失われにくいのがポイントです。肉じゃがやカレー、シチュー、おでん、味噌汁、フライドポテトなどいろいろな料理に使えます。

道の駅「しんよしとみ」　☎84-7077

春を感じる野菜です

鶴林 敏明・清美さん（安雲）

食用菜の花

愛らしい黄色の花で春の訪れを知らせてくれる菜の花。食用にする菜の花の葉やつぼみの味はほろ苦く独特の香りがありますが、栄養素のバランスが非常に良く、βカロテンやビタミンC、ビタミンB1、葉酸、食物繊維といった多種の栄養素が含まれています。春の訪れを感じるためにも、是非食卓の一品に添えてみてください。

地産地消レシピ

ビーフンサラダ

焼きビーフンを野菜たっぷりのサラダにしてみました。

材料　5人分

●焼ビーフン（味付）	1袋
●大根	250g
●人参	60g
●きゅうり	50g
●かにかまぼこ	60g
●マヨネーズ	60g～70g

①フライパンに焼ビーフン（味付）と水200ccを入れ火にかけ、水分がなくなるまで炒める。水分がなくなったら器にあけ、冷ましておく。
②大根と人参は皮をむいてせん切りにし、きゅうりもせん切りにする。しんなりするまでもみ、水分を軽く絞る。
③①と②とほぐしたかにかまぼこをあわせ、マヨネーズであえる。

●問い合わせ先　食育のまちづくり推進会議（教務課　学務係）TEL 72-3111（内線175）